

Exhibition

SICF17 グランプリアーティスト展

えがしら まこと

江頭誠 『Rose Blanket Collection'16』

会期 2016年11月16日(水) — 11月20日(日) 11:00 — 20:00

会場 ショウケース (スパイラル 1F)

人々の共有する記憶を呼び起こす、花柄の毛布の作品



スパイラルは、今年5月に開催した SICF17 (第17回スパイラル・インディペンデント・クリエイターズ・フェスティバル) に於いて出展クリエイター100組の中からグランプリに輝いたアーティスト江頭誠による個展『Rose Blanket Collection'16』を2016年11月16日(水) — 20日(日)にショウケース (スパイラル 1F) にて開催します。

高度経済成長期、日本の一般家庭に広く普及したロココ調の花柄の毛布を用いた立体作品を制作する、江頭誠。SICF17では、出展ブースの空間を生かし、花柄の毛布で洋式トイレの個室を再現。人々が共有している典型的な日本の家庭風景の記憶を蘇らせ、日本が戦後長らく抱いてきた西洋文化へのコンプレックスや憧れなどを巧みに表現しました。アイデアと表現手法の合致、ユーモア溢れる作品そのものが高く評価され、グランプリ受賞に至りました。本展では、約10畳のガラス張りのショウケースを洋間に見立て、天井から床に至るまで、すべてのものをバラ模様の毛布で包んだ空間を出現させます。神棚、クリスマスツリー、和ダンス、シャンデリアなど、和と洋が入り混じった空間に足を踏み入れる時、日本の一般的な家庭における原体験の記憶に想いを巡らすはずです。

この機会にぜひ本展のご取材、ご掲載を検討くださいますようお願い申し上げます。

作家コメント

誰しも手にしたことがあろう、バラ模様の毛布。
 なぜかロココ調のデザインが施されている。
 その毛布に私は、日本の文化の形を見ることができると考える。
 和とは、洋とは何なのか。
 バラ模様の毛布のお部屋をご用意致しました。
 皆様のお越しを心よりお待ちしております。

アーティスト 江頭誠

SICF17 審査員コメント

岡本美津子 東京藝術大学大学院映像研究科 教授、NHK E テレ「2355・0655」プロデューサー
 毛布をテキスタイルとして捉え直すことで、これまで全く意識下に無かった興味深い事柄や、自己の記憶、ひいては日本の戦後の家庭風景や価値観までもが一気に蘇ってくる。毛布という日用品が"メディア"となり、見る人それぞれに物語が紡がれる、まさに人間賛歌とも言える作品である。

木村絵理子 横浜美術館 主任学芸員

SICF のブースサイズ（狭さ）を最大限に活かして公の場所に私的空間であるトイレの個性を出現させるというアイデアと、戦後の日本で急速に一般化した毛布の柄（ロココ調の意図などが多く引用されたところに、戦後日本の西洋に対するコンプレックスなどを読み取ることができよう）に着目し、ソフトスカラブチャー（レリーフ）にするという手法が見事に合致した作品。

プロフィール

江頭 誠

Makoto EGASHIRA



略歴

1986年 三重県四日市市生まれ
 2011年 多摩美術大学美術学部彫刻学科卒業

主な受賞歴

2015年 「第18回岡本太郎現代芸術賞展」 特別賞受賞
 2016年 「SICF17」 グランプリ受賞

主な活動歴（グループ展）

2009年 「5D-five dimensions」 TUNER GALLERY（東京）
 2009年 「Art Program Ome 2009」 青梅市街（東京）
 2010年 「彫刻学科代表選抜展」 多摩美術大学（東京）
 2012年 「アトリエ展 オープンスペース」
 アトリエ・シャワーパーティー（東京）
 2013年 「アトリエ展 オープンスペース」
 アトリエ・シャワーパーティー（東京）
 2013年 「第13回かたち・ふれあい展」 実践女子短期大学（東京）
 2015年 「第18回岡本太郎現代芸術賞展」 川崎市岡本太郎美術館（神奈川）
 2016年 「SICF17」 スパイラルホール（東京）

参考作品：江頭誠 過去作品



『神宮寺宮型八棟造』(2015) 中古毛布、発泡スチロール
「第18回岡本太郎現代芸術賞展」特別賞受賞作品

写真提供：川崎市岡本太郎美術館

『お花畑』(2016)
中古毛布、発泡スチロール
撮影：市川勝弘



『大阪・冬の陣』(2011)
中古毛布



『熊本城』(2010) 熊本県産のみかんの皮



『ちょうこくの森』(2010) パフォーマンス

開催概要

会期： 2016 年11 月16日 (水) ～20日 (日) 11:00～20:00
会場： ショウケース (スパイラル1F) 〒107-0062 東京都港区南青山 5-6-23
入場料： 無料
お問い合わせ： 03-3498-1171 (スパイラル代表)
URL： http://www.spiral.co.jp/e_schedule/detail_2044.html
主催： 株式会社ワコールアートセンター
企画制作： スパイラル

SICF（スパイラル・インディペンデント・クリエイターズ・フェスティバル）とは

スパイラルが2000年から企画運営している公募展形式のアートフェスティバルです。様々なジャンルのクリエイター100組を選出し、若手作家の発掘・育成・支援を目的として、毎年ゴールデンウィーク期間中、スパイラルホールを舞台に、次代を担う新しい才能を紹介しています。

2017年に開催するSICF18の出展クリエイター募集および開催概要については11月以降にSICFウェブ(www.sicf.jp)で発表します。



SICF17会場風景

参考資料：出展クリエイター支援実績

SICFでは、過去17年に亘り、延べ1593組の気鋭のクリエイターを紹介してきました。スパイラルは過去受賞者をはじめ出展クリエイターの方々にも、スパイラルが企画運営にあたるアートフェスティバルや展覧会への参加、アートワーク制作への協力などを広く呼びかけ、若手作家の育成・支援に力を注いできました。

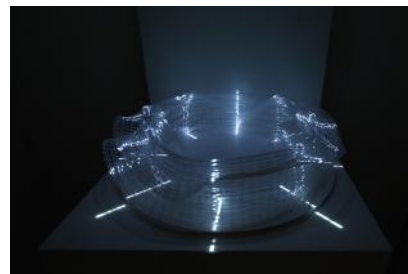
クリエイター支援実績の詳細はSICFウェブ「SUPPORT FOR CREATORS」にてご覧いただけます。

<http://www.sicf.jp/information/02-1.html>

参考資料：SICF17受賞者

SICFでは100組のクリエイターの中から、日本のカルチャーシーンを牽引する審査員によって、グランプリ、準グランプリ、各審査員賞を選出、さらに来場者の投票によってオーディエンス賞を決定し、各賞を授与しています。

準グランプリ	あきのり 後藤映則
準グランプリ	高木あすか
岡本美津子賞	FUKUPOLY
金森香賞	江藤友理子
木村絵理子賞	橋本美和子
栗栖良依賞	MIWAKAKUTA
張熹賞	植松京子
スパイラル奨励賞	山内沙也果
オーディエンス賞	あきのり 後藤映則



(上) 準グランプリ・オーディエンス賞
後藤映則『toki- BALLET #1』

(左) 準グランプリ
高木あすか『私の山 あなたの山』
撮影：市川勝弘

同時開催

日本精工株式会社（NSK）100周年記念展覧会「SENSE OF MOTION」

会期：2016年11月9日（水）～20日（日）11:00～20:00（11月9日は18:00まで）※会期中無休

入場料：無料

会場：スパイラルガーデン（スパイラル1F）

NSK Future Forum「SENSE OF MOTION」

日時：2016年11月12日（土）14:00-18:30（13:30 開場）※途中休憩あり

入場料：無料（要事前申し込み）

会場：スパイラルホール（スパイラル3F）

「SENSE OF MOTION」特設サイト www.senseofmotion.net

SICF ウェブ www.sicf.jp

SICF Facebook www.facebook.com/SpiralIndependentCreatorsFestival

SICF twitter @SICF_official SICF Instagram @sicf_jimukyoku

spiral.